

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		公園施設維持管理事業				部名	建設水道部		グループ名	公園緑地グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	うるおいのある緑環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	公園・緑地の整備				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	公園費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5299	都市公園法、下野市都市公園条例及び同施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		都市公園をはじめとする各種公園は、こどもの遊び場や地域の交流の場であり、公園施設や樹木等による事故を未然に防止し、公園利用者が安全に安心して快適に利用できるよう適切な管理を実施することを目的とする。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ○都市公園をはじめとする市内公園等の除草、害虫防除、剪定などの維持管理業務 ○都市計画課が所管する公園施設(遊具等を含む)の補修や修繕工事 ○都市計画課が所管する各種公園の維持管理業務全般 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		市内公園112カ所の緑地管理業務委託 公園施設の修繕20件	市内公園112カ所の緑地管理業務委託 公園施設の修繕20件	市内公園104箇所の緑地管理業務委託 公園施設の修繕20件	市内公園104箇所の緑地管理業務委託 公園施設の修繕20件	市内公園104箇所の緑地管理業務委託 公園施設の修繕20件					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	139,189	150,497	135,229	135,229	144,057					
	予算現額	136,244	135,229	144,058							
	決算額	132,157	132,210								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	60,358	61,746	50,573	47,000	47,000					
	一般財源	75,886	73,483	93,485	88,229	97,057					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		住民一人当たり都市公園面積				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	市内都市公園面積を市内人口で除した面積(目標値R2:16.53㎡)				
実績値		16.89㎡	16.53㎡	16.92㎡	16.92㎡	16.80㎡					
目標達成率		102.2%		102.4%	102.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	公園内の樹木が大きくなり、清掃や剪定等の維持費が増加している。									
	B) Aにおける対応策	樹木の管理については、計画的に剪定や強剪定を行うことで平準化を行った。									
	C) 新たな課題等	枯木や病気などによる倒木の恐れのある樹木が増えてきている。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会経済情勢の変化等に適合 ■ 市民・団体・議会等から要望や要請がある 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である □ 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合) 					
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民サービスの維持・向上に寄与 ■ 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある □ 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合) 					
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す ■ 他課や他自治体、市民団体等と連携 □ 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 受益機会・費用負担割合等が公平公正 □ 他自治体等と比較し、適切な方法である □ 管理業務等で、さらなる効率化は困難 					
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> □ 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる □ 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である □ マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている 										
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		公園施設整備事業				部名	建設水道部		グループ名	公園緑地グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	うるおいのある緑環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	公園・緑地の整備				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	公園費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5323	都市公園法、下野市都市公園条例及び同施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		都市公園をはじめとする各種公園は、こどもの遊び場や地域の交流の場であり、公園施設や樹木等による事故を未然に防止し、公園利用者が安全に安心して快適に利用できるよう適切な管理を実施することを目的とする。									
事業概要		○公園施設の工事 ・公園施設長寿命化対策事業に該当しない公園施設の工事 ・整備済公園の遊具等設置など ・インクルーシブ遊具設置									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		公園施設の工事5件	公園施設の工事5件	公園施設の工事5件	公園施設の工事5件 インクルーシブ遊具設置設計	公園施設の工事5件 インクルーシブ遊具設置工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,750	2,500	1,986	3,700	23,000					
	予算現額	2,404	1,986	3,011							
	決算額	2,401	1,914								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	10,000					
	一般財源	2,404	1,986	3,011	3,700	13,000					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		住民一人当たり都市公園面積				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	市内都市公園面積を市内人口で除した面積(目標値R2:16.53㎡)				
実績値		16.89㎡	16.53㎡	16.92㎡	16.92㎡	16.53㎡					
目標達成率		102.1%		102.4%	102.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	公園施設及び管理に起因すると思われる事故を未然に防ぐ取組が必要である。									
	B) Aにおける対応策	職員や清掃作業及び緑地管理を行う委託業者による定期的なパトロールによる日常点検を実施									
	C) 新たな課題等	遊具の異常の早期発見のために、市民からの通報が行える仕組みの拡充									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		三王山ふれあい公園管理事業				部名	建設水道部		グループ名	公園緑地グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	うるおいのある緑環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成30年度
	施策	1	公園・緑地の整備				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業				目		4	公園費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5401		都市公園法、下野市都市公園条例及び同施行規則		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		既存の施設である「道の駅しもつけ」、「下野市ふれあい館」との連携により、それぞれの施設での特徴を活かした事業の展開や市民の利便性を向上させるため、本公園の特色ともいえる、オートキャンプ場やドッグランなどを活用した事業など、新たな付加価値の創出を推進し、来訪者と地域住民の方々それぞれが、いきいきと活動する拠点として、地域の生活環境の向上に努めることを目的とする。									
事業概要		○指定管理者：株式会社道の駅しもつけ ○指定期間：令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間 ○主な公園施設：オートキャンプ場、ドッグラン、管理事務所、トイレ棟、サニタリー棟 ○業務内容：利用許可、維持管理、自主事業の実施、物品等の管理、安全に関する業務									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		指定管理者制度導入 令和3年度～5年度 ※1年度目	指定管理者制度導入 令和3年度～5年度 ※2年度目	指定管理者制度導入 令和3年度～5年度 ※3年度目 ※次年度の選定事務	指定管理者制度導入 令和6年度～8年度 ※1年度目	指定管理者制度導入 令和6年度～8年度 ※2年度目					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	37,672	34,750	34,750	34,750	34,750					
	予算現額	34,750	34,750	34,750							
	決算額	34,750	34,750								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	900	980	1,060	1,060	1,060					
	一般財源	33,850	33,770	33,690	33,690	33,690					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		住民一人当たり都市公園面積				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	市内都市公園面積を市内人口で除した面積(目標値R2:16.53㎡)				
実績値		16.89㎡	16.53㎡	16.92㎡	16.92㎡	16.80㎡					
目標達成率		102.2%		102.4%	102.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	古墳の森デッキサイトを有効活用する工夫が必要である。									
	B) Aにおける対応策	ホームページやLINEを使った告知等により過去最高の実績となった。									
	C) 新たな課題等	ドッグラン利用件数の増加に伴う芝生の適切な維持管理									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成30年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		公園施設長寿命化対策事業				部名	建設水道部		グループ名	公園緑地グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	うるおいのある緑環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和元年度
	施策	1	公園・緑地の整備				項	4	都市計画費	事業終了年度	令和9年度
	主な事業				目		4	公園費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		14205	都市公園法、下野市都市公園条例及び同施行規則	
事業の種類		ハード事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		老朽化した公園施設に対し、安全対策の強化や適切な維持管理の実施及び改築・更新に係るコストの縮減、平準化を図る観点から策定した「下野市公園施設長寿命化計画」に基づいた修繕計画に則り、公園施設を計画的な更新・補修を実施することにより、遊具等の安全性向上と使用期間の延伸を図る。									
事業概要		下野市公園施設長寿命化計画に基づき、市内の都市公園56か所の公園施設について改築・更新、補修を実施する。 ※平成31年度(令和元年度)から平成35年度(令和5年度)までの計画では22か所の都市公園が実施予定である。(補助事業)									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		市内都市公園 ①補助対象6か所 ②補助対象外10か所		市内都市公園 ①補助対象4か所 ②補助対象外16か所		市内都市公園 ①補助対象8か所 ②補助対象外6か所		市内都市公園 ①補助対象0か所 ②補助対象外3か所		市内都市公園 ①補助対象0か所 ②補助対象外7か所	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	85,791		74,166		76,570		2,336		80,159	
	予算現額	33,490		25,167		53,526					
	決算額	5,750		35,020							
財源	国県支出金	10,925		10,000		22,000		0		0	
	地方債・その他	9,800		9,000		30,800		0		0	
	一般財源	12,765		6,167		726		2,336		80,159	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		長寿命化対策を実施した公園数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	事業計画の公園数/計画対象の公園数(36公園)×100% ※補助対象施設のみ				
実績値		4か所(計6か所)	38.9%	3か所(計9か所)	6か所(計15か所)	61.1%					
目標達成率		11.1%(計16.7%)		8.3%(計25.0%)	16.7%(計41.7%)						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	ベンチ等の老朽化について、点検や撤去の検討が必要である。									
	B) Aにおける対応策	職員や清掃作業及び緑地管理を行う委託業者による定期的なパトロールによる日常点検を実施									
	C) 新たな課題等	トイレ等の便益施設の適正な維持管理									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		河川管理事業				部名	建設水道部		グループ名	保全グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	うるおいのある緑環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	河川環境の整備				項	3	河川費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	河川総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5168		河川法、美しい山河を守る災害復旧基本方針		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		河川環境の適正な維持管理、災害に対する安全性の確保 安定的な水供給の確保、自然環境の保全等									
事業概要		河川公園の管理、サイクリングロード等の除草									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・排水樋管操作業務委託・河川公園管理業務委託・田川、姿川サイクリングロードの防除業務委託	・排水樋管操作業務委託・河川公園管理業務委託・田川、姿川サイクリングロードの防除業務委託	・排水樋管操作業務委託・河川公園管理業務委託・田川、姿川サイクリングロードの防除業務委託	・クリーン作戦の実施・排水樋管管理業務委託・河川公園管理業務委託・田川、姿川サイクリングロード除草業務委託・河川公園施設修繕工事	・クリーン作戦の実施・排水樋管管理業務委託・河川公園管理業務委託・田川、姿川サイクリングロード除草業務委託・河川公園施設修繕工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	16,748	14,648	18,965	12,398	12,398					
	予算現額	16,540	18,178	11,142							
	決算額	14,412	12,929								
財源	国県支出金	358	361	345	350	350					
	地方債・その他	0	6,000	0	0	0					
	一般財源	16,182	11,817	10,797	12,048	12,048					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	ボランティア団体の高齢化やコロナ禍に伴うボランティア活動の見直しにより、河川環境美化活動への参加が減少した。									
	B) Aにおける対応策	ボランティア団体の河川環境美化活動への参加を促すため、作業内容及び支援方法の見直しを行う。									
	C) 新たな課題等	国及び県の流域治水プロジェクトへの対応（対策強化や整備促進などの要望）									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成26年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋地区消防組合負担金				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	常備消防費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 5437		消防組織法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		石橋地区消防組合を運営するための構成市町負担金。負担金は人口、世帯、危険物施設、面積、職員配置、車両配置の割合により算出される。災害時は消防署と消防団の連携を図るよう、体制づくりをする。									
事業概要		石橋地区消防組合を運営するための構成市町負担金。消防本部施設改修及び更新 消防車両更新									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	石橋地区消防組合負担金 995,992,000円		石橋地区消防組合負担金 922,654,000円		石橋地区消防組合負担金 922,654,000円		石橋地区消防組合負担金 918,212,000円		石橋地区消防組合負担金 935,564,000円		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	995,992		924,415		922,654		918,212		935,564	
	予算現額	924,415		922,654		923,676					
	決算額	924,415		922,654							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	924,415		922,654		923,676		918,212		935,564	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の老朽化に伴い回収が必要な時期となっている。									
	B) A)における対応策	中長期保全計画に基づきながら修繕等を行う必要がある。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		消防自動車維持管理事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	非常備消防費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5470		消防組織法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		火災時等の災害の際に消防団が円滑に活動できるよう消防ポンプ自動車の維持管理を行う。 消防ポンプ車21台の維持修繕									
事業概要		消防ポンプ車21台の維持管理 ポンプ自動車 車検									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		消防ポンプ自動車 車検15台 車載装備品の整備	消防ポンプ自動車 車検8台 車載装備品の整備	消防ポンプ自動車 車検14台 車載装備品の整備 準中型免許取得費補助	消防ポンプ自動車 車検8台 車載装備品の整備 準中型免許取得費補助	消防ポンプ自動車 車検13台 車載装備品の整備 準中型免許取得費補助					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	7,764	6,788	7,081	5,602	6,428					
	予算現額	6,788	4,898	6,688							
	決算額	4,689	3,256								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	6,788	4,898	6,688	5,602	6,428					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	消防団のポンプ車について購入から経過年数が経ち、車検費用が高騰してきている。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		非常備消防事務費				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	非常備消防費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5490		下野市地域防災計画		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体	下野市女性防火クラブ				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		消防団運営に関する費用、下野市地域防災計画の管理、防災訓練を開催する際の経費を計上する。消防団員、女性防火クラブ、防災活動支援隊が各種会議や研修に出席する際の負担金や団体への補助金、防災ラジオに関する経費を計上する。									
事業概要		下野市消防団の適正運営、下野市防災会議、下野市総合防災訓練の実施 県消防協会事業や石橋地区消防団連絡協議会事業の負担金 女性防火クラブの運営、消防団員の教育訓練 防災ラジオの整備促進									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		市防災訓練の実施 県消防協会や石橋地区消防団連絡協議会事業 女性防火クラブ活動	市防災訓練の実施 県消防協会や石橋地区消防団連絡協議会事業 女性防火クラブ活動	市消防団の運営 市防災訓練の実施 県消防協会や石橋地区消防団連絡協議会事業 女性防火クラブ活動	市消防団の運営 市防災訓練の実施 県消防協会や石橋地区消防団連絡協議会事業 女性防火クラブ活動	市消防団の運営 市防災訓練の実施 県消防協会や石橋地区消防団連絡協議会事業 女性防火クラブ活動	市消防団の運営 市防災訓練の実施 県消防協会や石橋地区消防団連絡協議会事業 女性防火クラブ活動				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	13,966	24,694	54,140	56,540	56,540					
	予算現額	24,694	13,584	58,298							
	決算額	23,269	12,804								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	293	293	143	0	0					
	一般財源	24,401	13,291	58,155	56,540	56,540					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	消防団員の減少に歯止めをかけるため、操法大会の在り方や消防団報酬の見直しなど今後検討していく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	消防団員報酬については出動手当を出動時間に応じて増額した。操法大会の開催方法等も今後検討していく。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		自主防災組織活動補助金交付事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成23年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業	防災・減災意識の推進					目	2	非常備消防費	関係法令等	
重点事業区分	3 暮らしいきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費 5546		下野市自主防災組織活動補助金交付要綱 下野市防災士資格取得補助金交付要綱			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		自主防災組織事務費 平成23年度に制定した下野市自主防災組織活動補助金交付要綱に基づき、自主防災組織設置促進、地域の防災力向上のために補助金を交付する。 平成30年度から下野市防災士資格取得補助金交付要綱に基づき、防災士資格取得補助金を交付する。									
事業概要		下野市自主防災組織活動補助金交付要綱に基づき、自主防災組織設置促進、地域の防災力向上のために補助金を交付。 下野市防災士資格取得補助金交付要綱に基づき、地域防災力向上のため、防災士資格取得補助金を交付する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	年間新規設立5団体及び防災活動補助20団体 防災士資格取得補助金3名分		年間新規設立5団体及び防災活動補助20団体 防災士資格取得補助金3名分		年間新規設立5団体及び防災活動補助20団体 防災士資格取得補助金3名分		年間新規設立5団体及び防災活動補助20団体 防災士資格取得補助金3名分		年間新規設立5団体及び防災活動補助20団体 防災士資格取得補助金3名分		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	1,490		1,490		1,590		1,790		1,940	
	予算現額	1,490		1,540		1,590					
	決算額	165		691							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	1,490		1,540		1,590		1,790		1,940	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		自主防災組織の設置数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		11	15	11		20					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	設立の相談はあるが、自治会での話し合いが調整できず、自主防災組織の新規設立団体数が伸びない。									
	B) Aにおける対応策	継続して設立の相談・支援を行っていく。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B					必要性	B				
有効性	A					有効性	A				
効率性	A					効率性	A				
総合評価	見直し実施										
6. 評価結果						※市民評価実績					
総合評価	見直し実施					令和2年度					
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		消防ポンプ車整備事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	令和4年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	非常備消防費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費 5551		消防組織法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		老朽化した消防ポンプ自動車を再整備することにより地域の防災力を高める。									
事業概要		緊急時の消防活動に支障をきたす恐れがあるため、老朽化した消防ポンプ自動車を更新計画に基づき更新する。毎年1台のポンプ車を更新予定。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
				第1分団第1部の車両を更新予定	第2分団第1部の車両を更新予定	第7分団第1部の車両を更新予定					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	44,190	22,808	22,808					
	予算現額	0	0	22,808							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	22,700	0	0					
	一般財源	0	0	108	22,808	22,808					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新たに購入する車両については、準中型免許を所持していなくても運転できるよう3.5t未満車を購入予定であるため、仕様や車載品等について十分協議する必要がある。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		消防防災施設管理事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業	防災・減災施設整備の推進					目	3	消防施設費	関係法令等	
重点事業区分	2 街いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費 5566		消防組織法			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		消防・防災施設に関する維持管理を行い安全安心な環境づくりを推進する。									
事業概要		消防設備としての消火栓維持管理 防災設備としての県システム、下野市システムの維持管理、河川及びアンダーパスの防災カメラの維持管理									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	消火栓維持管理及び設置負担金、県防災ネットワーク負担金 市防災情報伝達システム関連機器保守、防災カメラの保守、消防施設修繕	消火栓維持管理及び設置負担金、県防災ネットワーク負担金 市防災情報伝達システム関連機器保守、防災カメラの保守、消防施設修繕	消火栓維持管理及び設置負担金、県防災ネットワーク負担金 市防災情報伝達システム関連機器保守、防災カメラの保守、消防施設修繕	消火栓維持管理及び設置負担金、県防災ネットワーク負担金 市防災情報伝達システム関連機器保守、防災カメラの保守、消防施設修繕	消火栓維持管理及び設置負担金、県防災ネットワーク負担金 市防災情報伝達システム関連機器保守、防災カメラの保守、消防施設修繕	消火栓維持管理及び設置負担金、県防災ネットワーク負担金 市防災情報伝達システム関連機器保守、防災カメラの保守、消防施設修繕					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	26,684	29,551	33,418	35,590	35,590					
	予算現額	29,551	33,646	37,234							
	決算額	28,874	29,756								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	141	141	140	0	0					
	一般財源	29,410	33,505	37,094	35,590	35,590					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	無し									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果					※市民評価実績						
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		消防防災施設改修事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成23年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業	防災・減災施設整備の推進					目	3	消防施設費	関係法令等	
重点事業区分	2 街いきいきプロジェクト				経費区分	投資的経費		5584	消防組織法		
事業の種類	ハード事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		防災設備の改修を行い安全安心な防災活動づくりをはかる。									
事業概要		消防防災施設の維持管理									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	消火栓標識設置修繕		消火栓標識設置修繕		防火水槽撤去工事 消防団器具置場建替に係る設計業務委託		消火・防災施設の改修、維持管理		消火・防災施設の改修、維持管理		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	2,970		9,711		2,200		6,970		6,970	
	予算現額	9,711		13,586		6,701					
	決算額	9,549		10,187							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		13,200		0		0		0	
	一般財源	9,711		386		6,701		6,970		6,970	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	防火水槽の撤去相談がさらに増加傾向にある。撤去には多額の費用がかかるため、要望を受けて予算措置をし、撤去するまで数年を要する。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要										
事業名称		水防事業			部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
					課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり			款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進			項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業					目	4	水防費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 5631		水防法・災害対策基本法下野市地域防災計画下野市備蓄マニュアル		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①					
2. 事業内容										
事業目的		水害等の有事の際に、消防団や自主防災組織と連携を図り、対応できる体制を整える。								
事業概要		地域防災力や市民が水防活動を行うため、土のう袋やブルーシート、砂などを配備する。								
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		備蓄品の購入 水害対策用土のう袋 1,000枚 水防用ブルーシート 10枚 土のう用砂 10m ³	備蓄品の購入 水害対策用土のう袋 1,000枚 水防用ブルーシート 10枚 土のう用砂 10m ³	備蓄品の購入 水害対策用土のう袋 1,000枚 水防用ブルーシート 10枚 土のう用砂 10m ³	備蓄品の購入 水害対策用土のう袋 1,000枚 水防用ブルーシート 10枚 土のう用砂 10m ³	備蓄品の購入 水害対策用土のう袋 1,000枚 水防用ブルーシート 10枚 土のう用砂 10m ³	備蓄品の購入 水害対策用土のう袋 1,000枚 水防用ブルーシート 10枚 土のう用砂 10m ³			
◎事業費										
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
事業費	計画額	553	579	590	590	590				
	予算現額	579	590	596						
	決算額	144	278							
財源	国県支出金	0	0	0	0	0				
	地方債・その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	579	590	596	590	590				
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値										
指標名称							指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】				
実績値										
目標達成率										
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	市民一人ひとりが自分の居住している地区の浸水危険度や最寄りの避難所の場所について、さらに理解を深める必要がある。								
	B) Aにおける対応策									
	C) 新たな課題等									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。										
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている				
総合評価	継続実施									
5. 2次評価										
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定					
必要性	A				必要性	A				
有効性	A				有効性	A				
効率性	A				効率性	A				
総合評価	継続実施				継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績										
総合評価	継続実施				-					
備考										

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		災害事業			部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ		
					課名	安全安心課					
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業				目		5	災害対策費	関係法令等		
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 5640		下野市地域防災計画下野市備蓄マニュアル			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		下野市備蓄マニュアルに基づき、ブルーシート、備蓄用食料、飲料水等の備蓄品を整備する。									
事業概要		食料及び飲料水は、最大避難者数から算出した備蓄目標計画数量を基に備蓄を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		備蓄用食料 備蓄用飲料水 避難所運営用消耗品	備蓄用食料 備蓄用飲料水 避難所運営用消耗品	備蓄用食料 備蓄用飲料水 避難所運営用消耗品	備蓄用食料 備蓄用飲料水 避難所運営用消耗品	備蓄用食料 備蓄用飲料水 避難所運営用消耗品	備蓄用食料 備蓄用飲料水 避難所運営用消耗品				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,344	2,979	3,036	2,350	2,270					
	予算現額	2,979	3,036	3,455							
	決算額	29,000	2,082								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	35	0	0	0	0					
	一般財源	2,944	3,036	3,455	2,350	2,270					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		目標計画率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	主食の計画数量に対する在庫数				
実績値		100.0%	100%			100%					
目標達成率		100.0%									
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	備蓄用飲料水は市の水(2ℓ)を購入している。避難所での配布を考えた場合500mlのほうが便利であるが、市の水の500mlは2年保存のため、市販品の購入を検討している。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		災害物資支援事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	
	主な事業						目	5	災害対策費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 11316		災害救助法下野市地域防災計画各種災害時協定書		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		被災地に物資を届け、被災した方々を支援する。									
事業概要		被災地に必要に応じて、支援物資を提供する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		必要に応じて支援	必要に応じて支援	必要に応じて支援	必要に応じて支援	必要に応じて支援					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2	2	2	2	2					
	予算現額	2	2	2							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2	2	2	2	2					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	無し									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		消防器具置場建設事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	新規
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	9	消防費	事業開始年度	令和6年度
	施策	1	消防・防災対策の推進				項	1	消防費	事業終了年度	令和7年度
	主な事業				目		3	消防施設費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		5600		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		更新計画に基づき、消防団器具置場の更新を行う。									
事業概要		第3分団第1部の消防団器具置場の更新を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
					設計業務委託	管理業務委託 建設工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	3,850	30,000					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	3,850	30,000					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	浸水想定区域内にあり、市内で唯一詰所機能がなく、早期の建て替えが必要である。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 2次評価基準による <input checked="" type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input checked="" type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		防犯対策事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	防犯対策の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		14	自治振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		1144		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		犯罪のない社会づくりのため、防犯意識の高揚・犯罪の起こりにくい環境の整備を行い、誰もが安心して暮らせる下野市の実現を目指す。									
事業概要		下野地区防犯協会連合会負担金 幼児対象誘拐防止巡回指導負担金 被害者支援センターとちぎ負担金 街頭防犯カメラ設置費用補助金									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		警察と連携し街頭広報活動、防犯パトロールを実施。自治会、事業所等に街頭防犯カメラ設置費用を補助。	警察と連携し街頭広報活動、防犯パトロールを実施。自治会、事業所等に街頭防犯カメラ設置費用を補助。	警察と連携し街頭広報活動、防犯パトロールを実施。自治会、事業所等に街頭防犯カメラ設置費用を補助。	警察と連携し街頭広報活動、防犯パトロールを実施。自治会、事業所等に街頭防犯カメラ設置費用を補助。	警察と連携し街頭広報活動、防犯パトロールを実施。自治会、事業所等に街頭防犯カメラ設置費用を補助。	警察と連携し街頭広報活動、防犯パトロールを実施。自治会、事業所等に街頭防犯カメラ設置費用を補助。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,508	3,978	3,634	3,529	3,529					
	予算現額	4,079	3,634	3,529							
	決算額	2,543	2,296								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	4,079	3,634	3,529	3,529	3,529					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		4	4	4	4	4					
目標達成率		100%	4	100%	100%	4					
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	街頭防犯カメラ設置費用補助事業については、年々周知され現在も継続的に要望があり、個人事業主や自治会が主な補助対象であることから、補助申請受付は要綱に基づき適正に手続きを行う必要がある。									
	B) A)における対応策	申請書類を厳正にチェックし、設置箇所の現地確認、設置後の様子の確認等、不正のないよう厳しく対応する。									
	C) 新たな課題等	住宅対象窃盗、自動車盗など増加傾向にあることから、市内防犯ボランティアとの更なる連携、情報交換を実施する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成27年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		防犯灯推進管理事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	防犯対策の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	14	自治振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 1168		下野市防犯灯設置基準		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		「犯罪のない、明るいまちづくり」を実現するため、夜間の犯罪抑制対策として防犯灯を適切に管理する。									
事業概要		防犯灯維持管理費 防犯灯ESCO事業業務委託料									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		防犯灯電気料 市内防犯灯の修繕 (電球・点滅器・器具交換) 防犯灯ESCO事業業務委託	防犯灯電気料 市内防犯灯の修繕 (電球・点滅器・器具交換) 防犯灯ESCO事業業務委託	防犯灯電気料 市内防犯灯の修繕 (電球・点滅器・器具交換) 防犯灯ESCO事業業務委託	防犯灯電気料 市内防犯灯の修繕 (電球・点滅器・器具交換) 防犯灯ESCO事業業務委託	防犯灯電気料 市内防犯灯の修繕 (電球・点滅器・器具交換) 防犯灯ESCO事業業務委託	防犯灯電気料 市内防犯灯の修繕 (電球・点滅器・器具交換) 防犯灯ESCO事業業務委託				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	15,066	15,057	14,793	21,479	21,479					
	予算現額	15,057	14,793	21,479							
	決算額	14,693	16,432								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	5,000	5,000	0	0					
	一般財源	15,057	9,793	16,479	21,479	21,479					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		4	4	4	4	4					
目標達成率		100%		100%	100%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	夜間帯の安全の確保や犯罪の未然防止といった犯罪抑止力の強化を図っていく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	市民の防犯意識の向上と防犯灯の維持管理を計画的に進める。									
	C) 新たな課題等	夜間帯における犯罪の防止を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		防犯灯設置事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	防犯対策の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	14	自治振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費 1177		下野市防犯灯設置基準		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		「犯罪のない、明るいまちづくり」を実現するために、夜間における犯罪抑制対策として防犯灯の設置を行う。									
事業概要		自治会からの設置要望等のもと予算内にて適正に判断し、新規防犯灯設置工事を進める。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		防犯灯(LED)設置工事 新規設置60基 みゆき通り街路灯撤去工事 14基	防犯灯(LED)設置工事 新規設置60基	防犯灯(LED)設置工事 新規設置55基	防犯灯(LED)設置工事 新規設置55基	防犯灯(LED)設置工事 新規設置55基	防犯灯(LED)設置工事 新規設置55基				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,980	2,281	1,815	2,805	2,805					
	予算現額	1,980	1,815	2,805							
	決算額	2,904	1,758								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	741	0	0					
	一般財源	1,980	1,815	2,064	2,805	2,805					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		4	4	4	4	4					
目標達成率		100%		100%	100%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	夜間帯の安全の確保や犯罪抑止力の強化を図っていく必要がある。									
	B) A)における対応策	夜間における犯罪の防止を図り、防犯灯設置を計画的に進める。									
	C) 新たな課題等	市内危険箇所を把握し、効果的に防犯灯の設置を行う必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		空き家バンク事業				部名	建設水道部		グループ名	都市計画G	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成30年度
	施策	2	防犯対策の推進				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	都市計画総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		14392	空家対策特別措置法、宅地建物取引業法、民法	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		各種補助制度の運用を図りながら、空き家の利活用を通して定住促進と地域活性化を図り、安全安心なまちづくりを推進する。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム工事補助 対象事業費20万円以上の工事 補助率1/2 限度額50万円 ・家財処分補助 対象事業費5万円以上の家財処分 補助率1/2 限度額10万円 ・インスペクション補助 補助率1/2 限度額5万円 ・空き家バンク登録推進奨励金 バンクに登録した年度の家屋に対しての固定資産税額の2倍の額 限度額5万円(市街化区域)、2.5万円(市街化調整区域) 									
事業計画(基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム補助 ・家財処分補助 ・インスペクション補助 ・空き家バンク登録推進奨励金交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム補助 ・家財処分補助 ・インスペクション補助 ・空き家バンク登録推進奨励金交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム補助 ・家財処分補助 ・インスペクション補助 ・空き家バンク登録推進奨励金交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム補助 ・家財処分補助 ・インスペクション補助 ・空き家バンク登録推進奨励金交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム補助 ・家財処分補助 ・インスペクション補助 ・空き家バンク登録推進奨励金交付 					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	4,007	2,204	2,204	2,204	2,204					
	予算現額	2,204	2,204	2,204							
	決算額	37	13								
財源	国県支出金	750	750	750	750	750					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,454	1,454	1,454	1,454	1,454					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		①登録件数、②リフォーム補助、③家財処分補助、④登録奨励金(R3~)				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	①=実績値/5件(目標値)、②③=実績値/3件(目標値)、④=実績値/3件(目標値)				
実績値		①1、②0、③1件		①0、②0、③0、④0	①1、②0、③0、④1						
目標達成率		①20%、②0%、③20%	①5、②3、③3件	①0%、②0%、③0%、④0%	①20%、②0%、③0%、④33.3%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	引き続き、空き家バンク制度や補助金のPRを行う必要があるが、本市の空き家は民間で流通しているケースが多いことから空き家バンクへの登録に至らないケースが多い。									
	B) Aにおける対応策	登録対象とする空き家を市内全域とし、固定資産税納税通知書にチラシを同封し周知を行った。									
	C) 新たな課題等	チラシを同封した結果、相談件数は6月末時点で9件であり、さらに周知方法を検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会経済情勢の変化等に適合 ■ 市民・団体・議会等から要望や要請がある 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である □ 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合) 					
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民サービスの維持・向上に寄与 ■ 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する 				<ul style="list-style-type: none"> □ 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある □ 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合) 					
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフト事業 ■ 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す ■ 他課や他自治体、市民団体等と連携 □ 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 				<ul style="list-style-type: none"> □ 受益機会・費用負担割合等が公平公正 ■ 他自治体等と比較し、適切な方法である □ 管理業務等で、さらなる効率化は困難 		<ul style="list-style-type: none"> ■ ハード事業 □ 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる □ 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である □ マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている 			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要										
事業名称		空き家除却事業			部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
					課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり			款	2	総務費	事業開始年度	令和4年度
	施策	2	防犯対策の推進			項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業	空き家対策の推進				目	14	自治振興費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 17730		空家等対策の推進に関する特別措置法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①					
2. 事業内容										
事業目的		「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、特定空家等の所有者に対し適正に管理を行うよう指導等を行う。 また、令和4年度末に現行の計画期間が終了する空家対策計画について改定するため、市内の空家候補について実態調査を行い、空家対策計画への反映を行う。								
事業概要		空家等対策協議会報酬費 全国空き家対策推進協議会等旅費 老朽危険空家等除却促進事業補助金 (50万円×2件)								
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
			空家等対策協議会報酬費 全国空き家対策推進協議会等旅費 特定空家認定建物詳細調査業務 空家対策計画改定に伴う空家実態調査	空家等対策協議会報酬費 全国空き家対策推進協議会等旅費 特定空家認定建物詳細調査業務 老朽危険空家等除却促進事業補助金	空家等対策協議会報酬費 全国空き家対策推進協議会等旅費 特定空家認定建物詳細調査業務 老朽危険空家等除却促進事業補助金	空家等対策協議会報酬費 全国空き家対策推進協議会等旅費 特定空家認定建物詳細調査業務 老朽危険空家等除却促進事業補助金	空家等対策協議会報酬費 全国空き家対策推進協議会等旅費 特定空家認定建物詳細調査業務 老朽危険空家等除却促進事業補助金			
◎事業費										
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
事業費	計画額	0	0	1,182	1,182	1,182				
	予算現額	0	0	1,367						
	決算額	0	0							
財源	国県支出金	0	0	500	500	500				
	地方債・その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	0	0	867	682	682				
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値										
指標名称							指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】				
実績値										
目標達成率										
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	毎年のように法改正や解釈の変更などがある中、より担当職員の専門知識が必要となってきた。								
	B) Aにおける対応策	県や関係団体と連携し、最新の状況を把握・連携しながら事業を行っていく。								
	C) 新たな課題等	空家事業の主管課である安全安心課に建築技師がいないため、老朽危険空家の判定等の際に専門知識が無い職員が評価している状況である。								
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。										
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				
総合評価	継続実施									
5. 2次評価										
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定					
必要性	A				必要性	A				
有効性	B				有効性	B				
効率性	A				効率性	A				
総合評価	継続実施				継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績										
総合評価	継続実施				令和4年度					
備考										

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		犯罪被害者等支援事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	令和5年度
	施策	2	防犯対策の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	14	自治振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 19367		下野市犯罪被害者等支援条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図り、安全で安心して暮らすことができる地域社会づくりを行う。									
事業概要		犯罪被害者等（遺族・重傷病者）に必要なに応じて、見舞金の支給による支援を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
				必要に応じて支援	必要に応じて支援	必要に応じて支援					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	1	1					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	1	1					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	無し									
	B) Aにおける対応策	無し									
	C) 新たな課題等	無し									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 2次評価基準による <input checked="" type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input checked="" type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input checked="" type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		消費者行政事業				部名	市民生活部		グループ名	消費生活グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	消費者行政の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	15	消費者行政費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 1244		消費者基本法、消費者安全法、消費者教育の推進に関する法律		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		消費者被害の防止、消費者からの相談や自主的な活動の援助、消費者教育の推進など消費者の利益を目的とした事業を実施する。									
事業概要		消費生活センターの運営 消費者被害防止のための啓発事業の実施 特殊詐欺撃退機器の購入費補助事業									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・消費生活センターの運営・啓発事業の実施(出前講座、街頭啓発、消費者まつり、講演会)・特殊詐欺撃退機器の購入費補助	・消費生活センターの運営・啓発事業の実施(出前講座、街頭啓発、消費者まつり、講演会)・特殊詐欺撃退機器の購入費補助	・消費生活センターの運営・啓発事業の実施(出前講座、街頭啓発、消費者まつり、講演会)・特殊詐欺撃退機器の購入費補助	・消費生活センターの運営・啓発事業の実施(出前講座、街頭啓発、消費者まつり、講演会)・特殊詐欺撃退機器の購入費補助	・消費生活センターの運営・啓発事業の実施(出前講座、街頭啓発、消費者まつり、講演会)・特殊詐欺撃退機器の購入費補助	・消費生活センターの運営・啓発事業の実施(出前講座、街頭啓発、消費者まつり、講演会)・特殊詐欺撃退機器の購入費補助				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,765	5,886	6,307	6,262	6,262					
	予算現額	6,446	6,307	6,262							
	決算額	4,843	5,149								
財源	国県支出金	71	71	71	71	71					
	地方債・その他	0	0	150	0	0					
	一般財源	6,375	6,236	6,041	6,191	6,191					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	高齢者の消費者被害が増加傾向にある。									
	B) Aにおける対応策	出前講座や街頭啓発活動、消費者まつりでの啓発を行う。									
	C) 新たな課題等	20代の消費者被害が増加傾向にある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和2年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		交通指導員配置事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	4	交通安全対策の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	13	交通安全対策費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		972	下野市交通安全に関する条例、下野市交通安全に関する条例施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		交通指導員・交通教育指導員活動及び運営									
事業概要		交通指導員28名分の報酬及び活動に伴う消耗品購入及び保険料 交通教育指導員1名分の報酬・期末手当等 栃木県交通指導員連合会負担金									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		・交通指導員の適正配置 ・交通指導員の資質向上 ・交通教育指導員による交通安全教室の開催		・交通指導員の適正配置 ・交通指導員の資質向上 ・交通教育指導員による交通安全教室の開催		・交通指導員の適正配置 ・交通指導員の資質向上 ・交通教育指導員による交通安全教室の開催		・交通指導員の適正配置 ・交通指導員の資質向上 ・交通教育指導員による交通安全教室の開催		・交通指導員の適正配置 ・交通指導員の資質向上 ・交通教育指導員による交通安全教室の開催	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	23,880		24,999		24,318		24,217		24,217	
	予算現額	24,394		24,318		24,217					
	決算額	23,618		23,114							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	24,394		24,318		24,217		24,217		24,217	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		3	4	3	3	4					
目標達成率		75%		75%	75%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	令和2年度から新たに交通教育指導員を導入したので、幼児、児童、生徒、高齢者、企業等に対して積極的に交通安全教室を実施し、交通安全を推進していく必要がある。									
	B) A)における対応策	広報やホームページ等で周知を図り、各団体に働きかけ交通安全教室を数多く開催する。									
	C) 新たな課題等	交通指導員の配置場所は交通量の変化や歩く児童数により、柔軟に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		交通安全施設整備事業				部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	4	交通安全対策の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	13	交通安全対策費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		989	下野市道路反射鏡設置基準	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		交通安全施設：道路反射鏡(カーブミラー)の整備 (令和5年度から交通安全施設管理事業を統一)									
事業概要		各自治会からの要望および危険箇所に対する施設整備									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・道路反射鏡の設置工事 ・道路区画線の設置工事 ・その他、交通危険箇所に対する施設整備	・道路反射鏡の設置工事 ・交通危険箇所に対する施設整備	・道路反射鏡の設置工事 ・交通危険箇所に対する施設整備 ・老朽化した門型看板2基の撤去	・道路反射鏡の設置工事 ・交通危険箇所に対する施設整備	・道路反射鏡の設置工事 ・交通危険箇所に対する施設整備	・道路反射鏡の設置工事 ・交通危険箇所に対する施設整備				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,282	1,391	19,132	17,100	17,100					
	予算現額	1,391	1,411	17,100							
	決算額	1,315	1,287								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	715	420	0	0	0					
	一般財源	676	991	17,100	17,100	17,100					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		3	4	3	3	4					
目標達成率		75%		75%	75%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	道路環境の変化により、道路安全施設の必要性を再検討する必要がある。									
	B) A)における対応策	ドライバーが歩行者や自転車を早期に発見することができるよう、道路安全施設の設置を実施する。									
	C) 新たな課題等	子どもや高齢者が安心して道路を利用するためには、ドライバーに運転しやすい交通環境を整備する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要										
事業名称		交通安全対策事業			部名	市民生活部		グループ名	危機管理グループ	
					課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	安全・安心な生活環境づくり			款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	4	交通安全対策の推進			項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業					目	13	交通安全対策費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費		1000		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体	下野地区交通安全協会下野支部			
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)①					
2. 事業内容										
事業目的		交通安全対策に伴う各種事業の実施								
事業概要		交通安全教育用冊子・リーフレット等 下野地区交通安全協会負担金 下野地区交通安全協会下野支部補助金								
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	交通安全街頭広報活動の実施 各交通安全県民総ぐるみ運動の実施 幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室の開催		交通安全街頭広報活動の実施 各交通安全県民総ぐるみ運動の実施 幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室の開催		交通安全街頭広報活動の実施 各交通安全県民総ぐるみ運動の実施 幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室の開催		交通安全街頭広報活動の実施 各交通安全県民総ぐるみ運動の実施 幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室の開催		交通安全街頭広報活動の実施 各交通安全県民総ぐるみ運動の実施 幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室の開催	
◎事業費										
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
事業費	計画額	2,895		2,778		2,244		2,281		2,281
	予算現額	3,732		2,244		2,281				
	決算額	3,688		2,198						
財源	国県支出金	270		270		270		0		0
	地方債・その他	0		0		0		0		0
	一般財源	3,462		1,974		2,011		2,281		2,281
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値										
指標名称		第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの					指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】				
実績値		3	4	3	3	4				
目標達成率		75%		75%	75%					
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	あおり運転や高齢者の運転する自動車事故が社会問題となっており、ドライバーに対する交通安全教育、安全啓発が課題。								
	B) Aにおける対応策	春、秋、年末の交通安全県民総ぐるみ運動や、夏に交通安全キャンペーンを展開し、子どもと高齢者の交通事故防止を主な目的とした交通安全啓発活動を実施する。								
	C) 新たな課題等	ドライバー等に対する広報啓発活動は継続して実施する必要がある、警察、マスコミ等と連携して広報活動を実施する必要がある。								
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。										
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている				
総合評価	継続実施									
5. 2次評価										
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定					
必要性	A				必要性	A				
有効性	A				有効性	A				
効率性	A				効率性	A				
総合評価	継続実施				継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績										
総合評価	継続実施				-					
備考										

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小山広域保健衛生組合負担金				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	ごみ処理等広域事業の推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	塵芥処理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費		3887	小山広域保健衛生組合規約、廃棄物処理法、小山広域保健衛生組合一般廃棄物処理基本計画、ごみ処理施設建設基本	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		南河内・国分寺地区から排出される一般廃棄物、石橋地区から排出される家庭系直接搬入を除く燃やすごみ・可燃性粗大ごみの一般廃棄物、市内全域から排出されるし尿等の適正な処理事業、保健予防事業、小山聖苑事業の推進等を目的とする。									
事業概要		小山広域保健衛生組合の構成市町としての負担金を支出する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		共通経費 保健予防経費 小山聖苑経費 ごみ処理経費 し尿処理経費		共通経費 保健予防経費 小山聖苑経費 ごみ処理経費 し尿処理経費		共通経費 保健予防経費 小山聖苑経費 ごみ処理経費 し尿処理経費		共通経費 保健予防経費 小山聖苑経費 ごみ処理経費 し尿処理経費		共通経費 保健予防経費 小山聖苑経費 ごみ処理経費 し尿処理経費	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	578,407		577,332		965,072		1,093,714		1,207,555	
	予算現額	577,332		640,326		1,005,849					
	決算額	548,549		609,689							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	577,332		640,326		1,005,849		1,093,714		1,207,555	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	組合規約改正に伴う石橋地区のごみの直接搬入先の変更について、事業者への情報提供									
	B) Aにおける対応策	チラシやホームページによる搬入先案内の周知									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		クリーンパーク茂原ごみ処理施設負担金				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名 一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	ごみ処理等広域事業の推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	塵芥処理費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 3892		ごみ処理に関する事務の委託及び健康交流センターの利用に関する規約、下野市一般廃棄物処理基本計画、廃棄物処理		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		石橋地区の直接搬入される家庭から排出される燃やすごみ、可燃系粗大ごみの適正な処理をする。									
事業概要		クリーンパーク茂原での石橋地区のごみ処理経費を負担金として宇都宮市へ支出する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		維持管理経費負担金 改良工事負担金		維持管理経費負担金 改良工事負担金		維持管理経費負担金		維持管理経費負担金		維持管理経費負担金	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	57,840		67,145		69,059		69,059		69,059	
	予算現額	67,145		69,059		225,586					
	決算額	43,920		79,817							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	67,145		69,059		225,586		69,059		69,059	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	石橋地区住民へごみ処理体制変更の周知									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		清掃総務事務費				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	ごみ処理等とリサイクルの推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	清掃総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 3818		廃棄物の処理及び清掃に関する法律廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出される家庭系一般廃棄物のステーション回収を推進する。									
事業概要		ステーション回収をスムーズに実施するため、ペットボトルコンテナ、ビンカンコンテナをステーションに配置している。違反ごみについては、違反シールを貼付し市民のごみ出しルールを徹底を図っている。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		資源ごみ回収用消耗品購入・ごみ出し違反シール印刷・資源ごみ採取パトロール実施・粗大ごみ収集受付	資源ごみ回収用消耗品購入・ごみ出し違反シール印刷・資源ごみ採取パトロール実施・粗大ごみ収集受付	資源ごみ回収用消耗品購入・ごみ出し違反シール印刷・資源ごみ採取パトロール実施・粗大ごみ収集受付	資源ごみ回収用消耗品購入・ごみ出し違反シール印刷・資源ごみ採取パトロール実施・粗大ごみ収集受付	資源ごみ回収用消耗品購入・ごみ出し違反シール印刷・資源ごみ採取パトロール実施・粗大ごみ収集受付					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,156	1,293	2,252	1,247	1,244					
	予算現額	1,293	1,040	2,335							
	決算額	1,017	979								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,293	1,040	2,335	1,247	1,244					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	ごみの出し方等変更箇所の周知									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		ごみ減量化事業				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	ごみ処理等とリサイクルの推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	清掃総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 3834		下野市一般廃棄物処理基本計画 下野市ごみ減量化計画		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		市民、市民団体との協同によるごみの資源化やごみ排出量の削減を目的に必要な施策を講じる。									
事業概要		資源回収報奨金制度、エコキャップ回収や家庭用廃食油回収等によりごみの資源化を推し進めるとともに、市内小中学生を対象としたごみ減量ポスターコンテストやエコショップ・エコオフィス認定による啓発活動を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		資源回収報奨金 ごみ減量ポスターコンテスト エコショップ オフィス認定 エコキャップ 分別委託 家庭用生ごみ処理機補助金交付 リユース食器導入促進事業補助金	資源回収報奨金 ごみ減量ポスターコンテスト エコショップ オフィス認定 エコキャップ 分別委託 家庭用生ごみ処理機補助金交付 リユース食器導入促進事業補助金	資源回収報奨金 ごみ減量ポスターコンテスト エコショップ オフィス認定 エコキャップ 分別委託 家庭用生ごみ処理機補助金交付 リユース食器導入促進事業補助金	資源回収報奨金 ごみ減量ポスターコンテスト エコショップ オフィス認定 エコキャップ 分別委託 家庭用生ごみ処理機補助金交付 リユース食器導入促進事業補助金	資源回収報奨金 ごみ減量ポスターコンテスト エコショップ オフィス認定 エコキャップ 分別委託 家庭用生ごみ処理機補助金交付 リユース食器導入促進事業補助金	資源回収報奨金 ごみ減量ポスターコンテスト エコショップ オフィス認定 エコキャップ 分別委託 家庭用生ごみ処理機補助金交付 リユース食器導入促進事業補助金				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,480	4,421	6,965	4,239	4,278					
	予算現額	4,421	4,215	3,708							
	決算額	3,260	3,342								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	2	2	2	0	0					
	一般財源	4,419	4,213	3,706	4,239	4,278					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量 (g)					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	資源物以外のごみ排出量/年間日数/人口 (住民基本台帳)				
実績値		564	500	548	500						
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	コロナの影響により生活様式が変わりごみ発生量が増加傾向にあること。									
	B) Aにおける対応策	説明会や現地調査による減量化のための分別指導									
	C) 新たな課題等	減量化施策により指定袋制度の導入検討を次年度に向けてしており、住民説明会などによる周知が必要									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		一般廃棄物収集運搬業務委託事業				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	ごみ処理等とリサイクルの推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	塵芥処理費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 3868		廃棄物処理法 下野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出される家庭系及び石橋地区市施設の一般廃棄物の収集を行い、小山広域保健衛生組合のごみ処理施設とクリーンパーク茂原に運搬する。									
事業概要		市内から排出される家庭系及び石橋地区市施設の一般廃棄物の収集を適正に行い、小山広域保健衛生組合のごみ処理施設等に収集運搬する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		一般廃棄物収集運搬業務委託 クリーンパーク茂原処理残渣運搬処理業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託 クリーンパーク茂原処理残渣運搬処理業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託 クリーンパーク茂原処理残渣運搬処理業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託 クリーンパーク茂原処理残渣運搬処理業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託 クリーンパーク茂原処理残渣運搬処理業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託 クリーンパーク茂原処理残渣運搬処理業務委託				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	320,306	310,399	323,501	323,501	0					
	予算現額	310,399	319,734	315,922							
	決算額	301,443	300,636								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	284	18	330	0	0					
	一般財源	310,115	319,716	315,592	323,501	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	石橋地区の燃やすごみの搬出先変更に伴う運搬費増。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				平成27年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		不法投棄物収集運搬業務委託事業				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	ごみ処理等とリサイクルの推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	塵芥処理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 3874		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 家電リサイクル法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		生活環境の保全を目的として、適法な処分が行われなかった一般廃棄物等の適正処理を行為者に代わり市が処分する。 不法投棄等に関する周知や学習環境を整え、環境意識の向上を目指す。									
事業概要		公共の場に不法投棄された一般廃棄物及び産業廃棄物を回収し、定期的に専門業者に依頼し適正に処分する。 不法投棄の事前予防のため、イベント等で、不法投棄防止等のPR実施や看板貸出を行う。また、児童・生徒への学習環境を整える。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		不法投棄家電処理 不法投棄物収集運搬処分 B型肝炎・破傷風予防注射接種	不法投棄家電処理 不法投棄物収集運搬処分 B型肝炎・破傷風予防注射接種	不法投棄家電処理 不法投棄物収集運搬処分 B型肝炎・破傷風予防注射接種	不法投棄家電処理 不法投棄物収集運搬処分 B型肝炎・破傷風予防注射接種	不法投棄家電処理 不法投棄物収集運搬処分 B型肝炎・破傷風予防注射接種	不法投棄家電処理 不法投棄物収集運搬処分 B型肝炎・破傷風予防注射接種				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	966	600	809	93,965	965					
	予算現額	600	600	902							
	決算額	333	309								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	65,100,000	0					
	一般財源	600	600	902	-65,006,035	965					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	薬師寺地区内(民有地)の廃棄物不適正保管状況に対する指導									
	B) Aにおける対応策	不適正保管状況に対する監視体制の強化のため監視カメラの設置 廃棄物監視員による不法投棄の監視体制の強化									
	C) 新たな課題等	不法投棄が増加傾向にある									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				平成30年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		クリーンセンター食物収集運搬業務委託事業				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	ごみ処理等とリサイクルの推進				項	2	清掃費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	塵芥処理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		3882		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		生ごみと尿・浄化槽汚泥を主原料として、堆肥を製造する小山広域クリーンセンターに学校給食の食品残渣を搬入し、廃棄物の有効活用を図る。									
事業概要		廃棄物を再利用したりリサイクル社会の構築に向け、クリーンセンターの円滑な稼働を目指し、給食残渣が効率的に搬入できるよう民間業者に委託する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		学校等生ごみ収集運搬業務委託	学校等生ごみ収集運搬業務委託	学校等生ごみ収集運搬業務委託	学校等生ごみ収集運搬業務委託	学校等生ごみ収集運搬業務委託					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	7,666	7,802	11,990	14,828	14,828					
	予算現額	7,802	7,920	14,927							
	決算額	7,412	7,851								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	7,802	7,920	14,927	14,828	14,828					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	組合の事業対象区域の変更(石橋地区)に伴う、対象区域の増加に伴う費用増。									
	B) Aにおける対応策	学校給食担当との分別説明会の実施									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		狂犬病予防事業				部名	市民生活部		グループ名	環境保全グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	環境対策の推進				項	1	保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	予防費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		3556	狂犬病予防法 環境美化条例	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		狂犬病予防法に基づき、飼い犬の登録と狂犬病予防注射の実施を推進する。飼い犬の登録及び鑑札の交付は狂犬病予防法第4条により、また、注射済票の交付は同法第5条により市町村の責務とされている。そして、事務の効率化及び予防接種率の向上を図るうえで栃木県獣医師会との連携は不可欠である。									
事業概要		県獣医師会と連携し、狂犬病予防注射の集合注射を実施して、登録と予防接種の完全実施を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		狂犬病予防注射 犬の登録管理 犬猫去勢・避妊手術補助	狂犬病予防注射 犬の登録管理 犬猫去勢・避妊手術補助	狂犬病予防注射 犬の登録管理 犬猫去勢・避妊手術補助	狂犬病予防注射 犬の登録管理 犬猫去勢・避妊手術補助	狂犬病予防注射 犬の登録管理 犬猫去勢・避妊手術補助					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,141	2,049	1,950	1,896	1,894					
	予算現額	2,049	1,720	2,047							
	決算額	1,991	1,322								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	1,805	1,720	1,635	0	0					
	一般財源	244	0	412	1,896	1,894					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	マイクロチップ制度の導入に関する検討									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要									
事業名称		環境衛生事務費			部名	市民生活部	グループ名	環境保全グループ	
					課名	環境課			
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			会計名	一般会計	新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり			款	4 衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	環境対策の推進			項	1 保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業					目	3 環境衛生費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費	3699	環境美化条例	
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II		補助団体				
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(ウ)②					

2. 事業内容						
事業目的	市内の環境美化、環境衛生の保持と向上を図るとともに、市民、市民団体、事業者、関係機関等との協働による生活環境等の向上を目指し、環境の保全と創造に関する取組を総合的・計画的に進める。					
事業概要	不法投棄の防止や公共の場所における動物死骸の撤去、犬の飼い主のマナー向上、空き地の雑草除去指導、スズメバチ駆除費の補助を進める。					
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	廃棄物監視員の設置 環境審議会の設置 不法投棄防止等看板作成 動物死体回収等業務委託 雑草等除去業務委託 スズメバチ駆除費補助	廃棄物監視員の設置 環境審議会の設置 不法投棄防止等看板作成 動物死体回収等業務委託 雑草等除去業務委託 スズメバチ駆除費補助	廃棄物監視員の設置 環境審議会の設置 不法投棄防止等看板作成 動物死体回収等業務委託 雑草等除去業務委託 スズメバチ駆除費補助	廃棄物監視員の設置 環境審議会の設置 不法投棄防止等看板作成 動物死体回収等業務委託 スズメバチ駆除費補助	廃棄物監視員の設置 環境審議会の設置 不法投棄防止等看板作成 動物死体回収等業務委託 雑草等除去業務委託 スズメバチ駆除費補助	廃棄物監視員の設置 環境審議会の設置 不法投棄防止等看板作成 動物死体回収等業務委託 雑草等除去業務委託 スズメバチ駆除費補助

◎事業費

(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	13,095	13,440	17,055	17,099	17,099
計画額	13,095	13,440	17,055	17,099	17,099
予算現額	14,008	14,550	14,632		
決算額	13,097	13,114			
財源					
国県支出金	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
地方債・その他	863	981	1,005	980	980
一般財源	11,345	11,769	11,827	14,319	14,319

3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値						
指標名称						指標の計算式等
目標及び実績値等	令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	
実績値		0				
目標達成率						
課題・懸案事項	<p>A) 昨年度の課題等 会計年度任用職員による軽微な監視等現場対応を検討。</p> <p>B) Aにおける対応策 会計年度任用職員と連携し監視等を行った。</p> <p>C) 新たな課題等 投棄行為者の不明案件への対応</p>					

4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。		
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難
		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている
総合評価	見直し実施	

5. 2次評価						
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望					
委員会判定				市長判定		
必要性	B			必要性	B	
有効性	B			有効性	B	
効率性	B			効率性	B	
総合評価	見直し実施			総合評価	見直し実施	
6. 評価結果				※市民評価実績		
総合評価	見直し実施			令和3年度		
備考						

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		環境基本計画推進事業				部名	市民生活部		グループ名	環境政策グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款			事業開始年度	平成26年度
	施策	3	環境対策の推進				項			事業終了年度	
	主な事業	「下野市環境基本計画」の推進					目			関係法令等	
重点事業区分	3 暮らしいきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費		下野市環境基本条例(平成24年3月27日条例第4号)			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(ウ)②							
2. 事業内容											
事業目的	下野市環境基本計画を適切に進めていくために、市及び市民、市民団体、事業者等がそれぞれの役割分担と環境パートナーシップのもとに連携し、協働により環境の保全及び創造に関する取組を総合的・計画的に展開していく。										
事業概要	環境基本計画に基づき、「しもつけ環境市民会議」との協働プロジェクトの実施に向けて取組の強化を図り、各種イベントにおける広報・啓発活動や市との共催による「環境フェア」の開催を行う。										
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	・環境基本計画庁内推進委員会1回・しもつけ環境市民会議6回・環境フォーラムの協働開催	・環境基本計画庁内推進委員会2回・しもつけ環境市民会議6回・環境フォーラムの協働開催	・環境基本計画庁内推進委員会2回・しもつけ環境市民会議6回・環境フォーラムの協働開催	・環境基本計画庁内推進委員会2回・しもつけ環境市民会議回・環境フォーラムの協働開催	・環境基本計画庁内推進委員会2回・しもつけ環境市民会議回・環境フォーラムの協働開催						
◎事業費											
(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
事業費	計画額	273	8,243	229	229	229					
	予算現額	243	6,675	182							
	決算額	97	6,057								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	243	6,675	182	229	229					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称	市民と企業・行政の協働による環境保全活動の実施					指標の計算式等					
目標及び実績値等	令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	実績値/環境基本計画目標数 環境計画目標値は、協働プロジェクト取組数					
	実績値	40	36	36	47						
	目標達成率	85.1%	47	76.6%	76.6%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	市民会議との協働による開催する「環境フェア」と「消費者まつり」との共催しの集客の向上									
	B) Aにおける対応策	市民会議との協働による開催する「環境フェア」と「消費者まつり」との共催することができ、多くの来場者があった。									
	C) 新たな課題等	第二次下野市環境基本計画を推進するためには、庁舎各部署を連携が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				平成30年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		斎場使用料補助事業				部名	市民生活部		グループ名	環境政策グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成20年度
	施策	3	環境対策の推進				項	1	保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	環境衛生費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 3749		下野市斎場使用料補助金交付要綱		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)②						
2. 事業内容											
事業目的		市民の斎場利用に関して、使用料の一部を補助する。(平成21年下野市告示第18号)									
事業概要		斎場利用に関して、管内利用とならない場合に伴い、負担の公平化を図るため、使用料の一部を補助する。火葬場と待合室については、全ての斎場を対象として、式場等については、小山聖苑と宇都宮斎場のみを対象とする。 令和3年度補助実績 宇都宮斎場177件 小山聖苑件55 その他12件 合計									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		小山聖苑 65件 宇都宮市斎場等 175件		小山聖苑 65件 宇都宮市斎場等 175件		小山聖苑 65件 宇都宮市斎場等 175件		宇都宮市斎場等 175件		宇都宮市斎場等 150件	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	14,646		14,919		14,919		14,919		14,919	
	予算現額	14,919		14,919		14,044					
	決算額	14,808		15,513							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	14,919		14,919		14,044		14,919		14,919	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		補助金交付対象者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	実数/目標値				
実績値		222件	240件	244件	247件	240件					
目標達成率		92.5%		101.7%	103.0%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	石橋地区在住者は宇都宮斎場(悠久の丘)の利用者が多いため小山聖苑の利用者に比べ補助金額が高額になる。									
	B) A)における対応策	過去の実績を基に予算を確保し補助をおこなった。									
	C) 新たな課題等	令和5年4月から小山聖苑を石橋地区在住者も管内料金で使用できるようになったため、補助金額について検討する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市営墓地管理事業				部名	市民生活部		グループ名	環境政策グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	環境対策の推進				項	1	保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業				目		3	環境衛生費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		3754	墓地、埋葬等に関する法律・法律施行規則・市細則 下野市墓地条例・施行規則・事務取扱要領	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)②						
2. 事業内容											
事業目的		適正な墓地管理により環境衛生の保持及び向上を図る。									
事業概要		市営墓地及び市有墓地における除草等維持管理。市営墓地の使用許可、管理手数料徴収、返還による使用料還付等の事務及び墓地の整備事業。 【市営墓地：使用区画(整備済み区画)】 ・三味場墓地 259区画(305区画) ・釈迦堂墓地 399区画(400区画) ・柴南霊園墓地 106区画(108区画) ・サイ川霊園墓地 11区画(11区画) ・柴木間内墓地 129区画(214区画) ・すがた川霊園墓地 439区画(552区画)									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・市営墓地の維持管理及び管理手数料の徴収 ・広報紙・HP等の広報媒体を活用し、整備済区画の利用率向上を図る。	・市営墓地の維持管理及び管理手数料の徴収 ・広報紙・HP等の広報媒体を活用し、整備済区画の利用率向上を図る。	・市営墓地の維持管理及び管理手数料の徴収 ・広報紙、HP等の活用利用率向上を図る。 ・すがた川霊園拡張整備	・市営墓地の維持管理及び管理手数料の徴収 ・広報紙、HP等の活用利用率向上を図る。 ・すがた川霊園拡張整備	・市営墓地の維持管理及び管理手数料の徴収 ・広報紙、HP等の活用利用率向上を図る。 ・すがた川霊園拡張整備	・市営墓地の維持管理及び管理手数料の徴収 ・広報紙、HP等の活用利用率向上を図る。 ・すがた川霊園拡張整備				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,253	6,494	8,043	7,043	0					
	予算現額	6,494	7,043	6,818							
	決算額	5,125	5,304								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	6,494	7,043	6,798	107,043	7,100					
	一般財源	0	0	20	-100,000	-7,100					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		利用率				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	使用区画/整備済区画				
実績値		88.2%	84%	84.6%	85.2%	84%					
目標達成率		105%		100.1%	101.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	墓地の除草・清掃をシルバー人材へ委託をしているが進捗状況が悪く、管理についての苦情に繋がる。									
	B) Aにおける対応策	委託事業者との進捗情報常に確認し、また、現地の状況把握して墓地管理に努めた。									
	C) 新たな課題等	墓地の利用者増加し、すがた川霊園墓地の拡張整備準備を進める。また除草等維持管理に努める。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		地球温暖化対策事業				部名	市民生活部		グループ名	環境政策グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成22年度
	施策	3	環境対策の推進				項	1	保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	環境衛生費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		3791	①下野市電気自動車等購入費補助金交付要綱、②下野市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金交付要綱	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)②						
2. 事業内容											
事業目的		①地球温暖化の防止及び大気環境の改善を図ることを目的として、電気自動車等を購入する者に対し、その費用の一部を補助することにより、電気自動車等の普及促進を図る。 ②③地球温暖化防止対策の一環として、低炭素社会づくりによる環境保全を推進するために、環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進を図る。									
事業概要		①電気自動車（EV）を購入する方に10万円を、プラグインハイブリッド自動車（PHV）を購入する方に5万円を、それぞれ補助金として交付する。 ②太陽光発電システムを住宅に設置する方を対象に、発電システムの太陽電池の最大出力に1kW当たり1万円を乗じて得た額（4万円を限度）を補助金として交付する。 ③蓄電システム設置の最大1kWh当たり1万円を乗じて得た額（4万円を限度）を補助金として交付する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		①40件 3,000,000円 ②70件 2,800,000円	①15件 1,250,000円 ②65件 2,600,000円 ③65件 2,600,000円	①15件 1,250,000円 ②65件 2,600,000円 ③65件 2,600,000円	①30件 3,050,000円 ②50件 2,000,000円 ③50件 2,000,000円	①30件 3,050,000円 ②50件 2,000,000円 ③50件 2,000,000円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	5,800		4,050		6,450		6,450		6,450	
	予算現額	4,050		6,450		7,050					
	決算額	3,783		13,835							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	2,000		2,000		2,000		0		0	
	一般財源	2,050		4,450		5,050		6,450		6,450	
3. 評価指標・課題等											
※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		補助件数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	実績値/目標値数 (120件)				
実績値		72	120件	① 5台② 76件	① 25台② 56件	130件					
目標達成率		60%		67.5%	67.5%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	地球温暖化対策を推進するため、補助上限額の拡充の見直しを検討する。									
	B) Aにおける対応策	補助件数を増やし地球温暖化対策の推進に努めた。									
	C) 新たな課題等	現在、補助対象の以外の検討する必要がある。									
4. 1次評価											
※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果											
総合評価					※市民評価実績						
見直し実施					平成26年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		公害対策事業				部名	市民生活部		グループ名	環境政策グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	環境対策の推進				項	1	保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業				目		4	公害対策費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		3799	環境基本法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・栃木県生活環境の保全に	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(ウ)②						
2. 事業内容											
事業目的		公害の発生を未然に防止し、市民の健康を保護するとともに良好な生活環境を保全する。									
事業概要		市内の水質、騒音及び悪臭等の状況を調査することにより、市内の環境の状況を把握し、公害防止のための施策に活用する。また、県と連携し、事業者に対して環境保全のための指導を行うとともに、環境保全対策の要望活動を行う。その他、各種苦情への対応も行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		1) 水質対策 2) 騒音対策 3) 悪臭対策 4) 放射能対策	1) 水質対策 2) 騒音対策 3) 悪臭対策 4) 放射能対策	1) 水質対策 2) 騒音対策 3) 悪臭対策 4) 放射能対策	1) 水質対策 2) 騒音対策 3) 悪臭対策 4) 放射能対策	1) 水質対策 2) 騒音対策 3) 悪臭対策 4) 放射能対策					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,139	3,591	3,456	3,456	0					
	予算現額	3,191	3,456	2,692							
	決算額	2,624	2,438								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	52	78	104	0	0					
	一般財源	3,139	3,378	2,588	3,456	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		公害苦情件数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	相談件数/目標値				
実績値		158	60	171	187	60					
目標達成率		263.3%		285%	311%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	騒音や悪臭等の苦情があり、解決に時間を要する。また、雑草繁茂等による虫の発生の苦情が増加している。									
	B) Aにおける対応策	現場確認を行いまた、環境管理事務所と連携をして対処している。									
	C) 新たな課題等	空き家、空き地の増加し、苦情件数も増加している。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市内公共交通推進事業				部名	市民生活部		グループ名	消費生活グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	4	公共交通網の充実				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		12	市内公共交通推進費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		952		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)②						
2. 事業内容											
事業目的		<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度から運行しているデマンド交通について運行状況を検証・評価し利用ニーズに応じた改善を図る。 下野市地域公共交通計画に基づき、目標達成に向け推進を図る。 自主的に運転免許証を返納した方を対象に各種利用券等を交付する。 ユニバーサルデザインタクシーの普及促進を図り、誰もが安全・安心で快適に利用できる交通環境の整備を推進する。 									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通会議を適宜開催する。 運転免許証自主返納者支援として、運転免許証を自主返納した65歳以上の者を対象に、デマンド交通の回数券、ゆうゆう館入浴券、ふれあい館入浴券、きらら館トレーニング室3ヶ月定期券、道の駅しもつけ商品券のいずれかを交付する。また、運転経歴証明書を交付された者については、交付手数料支援として道の駅しもつけの商品券を交付する。 ユニバーサルデザインタクシーを導入するタクシー事業者及びタクシー貸与事業者に対し、国と協調して、人にやさしいユニバーサルデザインタクシー整備事業費補助金を交付する。 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		地域公共交通会議の開催	地域公共交通会議の開催	地域公共交通会議の開催	地域公共交通会議の開催	地域公共交通会議の開催					
		運転免許証自主返納支援	運転免許証自主返納支援	運転免許証自主返納支援	運転免許証自主返納支援	運転免許証自主返納支援					
		ユニバーサルデザイン整備補助金	ユニバーサルデザイン整備補助金	ユニバーサルデザイン整備補助金	ユニバーサルデザイン整備補助金	ユニバーサルデザイン整備補助金					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,336	2,222	2,202	3,678	3,678					
	予算現額	2,233	2,509	3,678							
	決算額	11,777	6,829								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,233	2,509	3,678	3,678	3,678					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	燃料費高騰による公共交通機関の経費圧迫。									
	B) Aにおける対応策	市内公共交通の維持を図るため、運行補助等を行う。									
	C) 新たな課題等	利用者ニーズに応じた公共交通の検討が必要。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市内公共交通運行事業				部名	市民生活部		グループ名	消費生活グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成20年度
	施策	4	公共交通網の充実				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		12	市内公共交通推進費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 966		下野市地域公共交通会議設置条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		交通空白地域の解消、市内交通の一助としてデマンド交通を運行し、日常生活に必要な交通手段の確保を図る。併せて、公共交通広域ネットワークの改善検討を行う。									
事業概要		デマンド交通の運行管理業務を委託する。関東自動車(株)が運行する広域連携バスの運行補助を壬生町と協調して行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		デマンドバス運行管理業務委託 40,000,000円	デマンドバス運行管理業務委託 33,992,000円	デマンドバス運行管理業務委託 33,992,000円	デマンドバス運行管理業務委託 40,000,000円	デマンドバス運行管理業務委託 40,000,000円					
		広域連携バス実証運行管理業務委託 27,000,000円			広域連携バス運行補助 6,000,000円 需用費20,000円	広域連携バス運行補助 6,000,000円 需用費20,000円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	83,020	60,612	42,384	46,020	46,020					
	予算現額	67,328	42,384	40,727							
	決算額	60,629	36,274								
財源	国県支出金	1,817	0	5,193	0	0					
	地方債・その他	14,493	42,000	35,000	0	0					
	一般財源	51,018	384	534	46,020	46,020					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	デマンド交通の利用に際し利用者の理解不足による苦情が相次いでいる。									
	B) Aにおける対応策	公共交通会議において協議及び運行事業者との調整を行う。									
	C) 新たな課題等	登録者及び利用者が増加したことにより、利用者の利便性の低下が危惧される。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成29年度、令和元年度、令和5年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		駐輪場維持管理事業				部名	市民生活部		グループ名	消費生活グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	4	公共交通網の充実				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	13	交通安全対策費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		1035	下野市自転車の放置の防止に関する条例・施行規則下野市自転車駐車場条例・施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		駅周辺の自転車の放置を予防し美観と良好な交通環境と生活環境を保持する。また、公共の場所の交通の安全と美観の保持を図る。									
事業概要		自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	自治医大駅周辺 放置自転車撤去 石橋駐輪場修繕		自治医大駅周辺 放置自転車撤去		自治医大駅周辺 放置自転車撤去 石橋駐輪場修繕		自治医大駅周辺 放置自転車撤去 駐輪場の修繕		自治医大駅周辺 放置自転車撤去 駐輪場の修繕		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	15,744		1,041		1,041		645		645	
	予算現額	741		1,041		745					
	決算額	973		835							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	32		22		22		32		32	
	一般財源	709		1,019		723		613		613	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	老朽化により壁等に破損が目立つ。石橋駐輪場は水はけが悪く、雨天時は利用者の転倒などが懸念される。									
	B) A)における対応策	大規模修繕を控えているため、必要に応じて修繕を行う。									
	C) 新たな課題等	放置自転車の保管場所の確保と処分を定期的に行う必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		駐輪場指定管理者施設管理運営費				部名	市民生活部		グループ名	消費生活グループ	
						課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成20年度
	施策	4	公共交通網の充実				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		13	交通安全対策費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		1047	下野市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例・施行規則下野市自転車駐車場条例・施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		平成20年度より自転車駐車場の管理運営を指定管理者に移行しており、民間の能力やノウハウを活用しつつ市民サービスの向上、行政コストの縮減等を図り、より成果重視型の管理運営を推進する。									
事業概要		自転車駐車場（小金井駅東・自治医大駅東・石橋駅）についてはシルバー人材センターを指定管理者として指定し適正な管理運営を行う。 指定管理期間：R5. 4. 1～R8. 3. 31									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	石橋自転車駐車場、自治医大自転車駐車場、小金井自転車駐車場の施設管理		石橋自転車駐車場、自治医大自転車駐車場、小金井自転車駐車場の施設管理		石橋自転車駐車場、自治医大自転車駐車場、小金井自転車駐車場の施設管理		石橋自転車駐車場、自治医大自転車駐車場、小金井自転車駐車場の施設管理		石橋自転車駐車場、自治医大自転車駐車場、小金井自転車駐車場の施設管理		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	32,015		32,984		31,758		28,970		29,747	
	予算現額	31,060		31,758		28,159					
	決算額	31,060		31,758							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	26,060		27,911		26,424		30,000		30,000	
	一般財源	5,000		3,847		1,735		-1,030		-253	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	少子化・コロナ禍などの影響により、利用が伸び悩んでおり利用促進策の検討が必要									
	B) Aにおける対応策	人件費を抑え、指定管理委託料を削減した。									
	C) 新たな課題等	駐輪場の利用者が減少している中、駐輪台数の見直しなどを検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要										
事業名称		駐輪場改修事業			部名	市民生活部		グループ名	消費生活グループ	
					課名	安全安心課				
総合計画	施策大綱(目標)	3	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	快適に暮らせる環境づくり			款	2	総務費	事業開始年度	令和6年度
	施策	4	公共交通網の充実			項	1	総務管理費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業					目	13	交通安全対策費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	投資的経費		1051		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	①	「魅力的					
2. 事業内容										
事業目的		築30年以上経過し老朽化した石橋駅自転車駐車を「石橋駅西口地区都市構造再編集中支援事業」の活用により、「駐輪場」としての利用目的は変更しない範囲でリノベーションし、付加機能をもたせることで利便性向上を図るとともに地域の賑わい創出を図る。								
事業概要		■石橋駅駐輪場 R4：実施設計 R5～6：工事 既存部：屋根防水改修、床面改修、塗装（鉄骨部、外部階段、外壁等）、照明器具交換、自火報設備改修、防犯カメラ設置等 付加機能：休憩スペース等の新設								
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
			実施設計（補正）	改修工事	改修工事					
◎事業費										
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
事業費	計画額	0	0	0	5,000	0				
	予算現額	0	0	0						
	決算額	0	0							
財源	国県支出金	0	0	0	2,500	0				
	地方債・その他	0	0	0	2,200	0				
	一般財源	0	0	0	300	0				
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値										
指標名称							指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】				
実績値										
目標達成率										
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	事業施工後の管理運営形態を検討するとともに、ランニングコスト削減に繋がる運営形態を検討								
	B) Aにおける対応策	ランニングコストを比較・検討している。								
	C) 新たな課題等	改修工事のスケジュールと工事費の調整が必要								
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。										
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている				
総合評価	継続実施									
5. 2次評価										
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定					
必要性	B				必要性	B				
有効性	A				有効性	A				
効率性	A				効率性	A				
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施				
6. 評価結果 ※市民評価実績										
総合評価	継続実施				-					
備考										